

本市の空き家対策の現状は

～現地調査を行い、精査していく～

本市では、空き家の等の適正管理に関する条例が平成26年の3月議会で制定され、国も

質

「空き家」と思われる建築物は1602軒で、「特定空き家」に該当する軒数は現時点では把握していません。

現在、「空き家」と
※「特定空き家」は何軒
あるのか。

質



お の やす ひで
小 野 泰 秀

清風クラブ

「空家等対策の推進に関する特別措置法」を平成27年5月26日から完全施行した。市の施行から2年、国の施行から1年が経過したにもかかわらず、まだ着手していないのは、この「空家等対策の推進に関する特別措置法」を軽んじているのか。市民の声を無視したことになるし、危

険性や景観の面から本市にとっても大きなマイナスになるのではないか。

答
建設課長

空き家バンク制度で空き家の有効活用を。（市のホームページより）

平成32年度の交付額を93億円程度と推計しています。

答
財政課長

昨年度から地方交付税は段階的に削減されているが、最終的に一本算定ではいくらになるのか。

質

基金の位置付けは大切な財源

～基金の保有状況を勘案し、
より慎重に財政運営を図っていく～

財政調整基金は一定程度の確保ができたと考えており、可能な限り公共施設整備基金に積み立てていきます。

答
財政課長

一本算定までの5年間で増額しなければならない基金はあるのか

質

普通交付税が減額する中で最も必要な基金は、※「財政調整用基金」、※「公共施設整備基金」、「地域振興基金」であると考えています。

答
財政課長

地方交付税が削減されていく中で一番重要な基金は。

質

- **特定空き家**=そのまま放置すれば倒壊の危険がある状態、衛生上有害となるおそれのある状態、管理が行われていないことにより景観を損なっている状態など、放置することが不適切である状態にあると認められるもの。 ● **財政調整用基金**=年度間の財源の不均衡を調整するためのもので、財源が不足する年度に活用するための基金。 ● **公共施設整備基金**=公共施設の維持、補修及び建設に要する資金に充てるための基金。 ● **地域振興基金**=合併後の市町村が合併特例債を財源として、地元住民の雇用確保及び地方振興のためには設けた基金。



こうじなふみひろ
神志那文寛

日本共産党

その他の質問
・再生可能エネルギーの促進を

安全・安心の避難所を

～総合的な見直しを行う～

答
市長

避難所は、耐震の強化、畳の部屋、日常的な毛布や厚手のマットの常備が必要では。

質

熊本地震における主避難所の指定は、施設への被害がないことや、早期の開設のため職員対応が可能な施設として7カ所を選定するなど、合計19カ所を指定しました。今回使用した避難所のうち、耐震面で不安

地盤や風水害等の災害種別ごとの避難所の指定や、自治区や自主防災組織による管理運営も視野に入れた自治公民館の避難所指定を行っていきます。

現在、指定している120カ所の避難所のほとんどが、旧町村での指定であり、統一して基準による見直しができていないのが実情です。

ある施設は、代替施設の選定や施設の耐震化を含めた検討が必要と考えています。全避難所に畳の部屋を設置することは現時点では困難ですが、今は長時間の避難所生活を想定した中で、クッション性のある敷きマット等の備蓄も検討する必要があると考えています。

答
市長

福祉避難所は日々周知し、対象の方には直接避難できるようすべきではないか。

質

本市では、現在7法人21施設と福祉避難所の協定を結んでおり、

受け入れ可能人数は250人と乳幼児7家族となっています。対象となる方は、高齢者、障がい者、妊娠は直接避難できるようすべきではないか。

受け入れ可能人数は250人と乳幼児7家族となっています。しかし熊本地震では、障がいのある方が一般の避難所では迷惑をかけると考へ、車中泊を行つたなど、さまざまの課題が指摘されてしまうので、今後、協力を得て、車中泊を行つたなど、さまざまの課題が指摘されてしまう。要請先と協議を行い、課題解決に向けて検討します。

備蓄している毛布や食料

